

株式会社 明光ネットワークジャパン

2020年8月期 決算説明

代表取締役社長

山下 一仁

2020年10月15日

2020年8月期(第36期) 業績報告

2020年8月期 連結業績

(単位：百万円)

	2020.8期 実績	前期比			計画比**		
		実績	増減額	増減率	計画値	増減額	増減率
売上高	18,218	19,967	△1,749	△8.8%	18,220	△1	△0.0%
営業利益	214	1,775	△1,560	△87.9%	△80	+294	-
経常利益	451	1,907	△1,455	△76.3%	100	+351	+351.9%
当期純利益*	△2,232	958	△3,190	-	240	△2,472	-

* 親会社株主に帰属する当期純利益（以下のスライドでも同様）

** 2020年7月10日発表の業績予想

- ・【前期比】 新型コロナ感染拡大に伴う休講・生徒数減少による減収減益
- ・【計画比】 売上高は7月10日発表の業績予想通り、営業・経常利益はコストコントロールにより増益
特別損失（減損損失等）の計上により、当期純損失計上

- ・ 明光義塾 (2020年8月末時点)
 - 【教室数】 **1,862教室**（前期比 △75教室）
（直営 +23教室 MAXIS +2教室 KMG △1教室 FC △99教室）※ケイラインは±0教室
 - 【生徒数】 **101,273名**（前期比 △11,808名）
（直営 14,961名 MAXIS 6,613名 ケイライン 2,657名 KMG 2,086名
FC 74,956名）

※MAXISイノベーション（MAXIS と表記）、ケイ・エム・ジーコーポレーション（KMG と表記） 3

2020年8月期 決算概要 (連結P/L)

(単位：百万円)

	2019.8期	2020.8期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	19,967	18,218	△1,749	△8.8%
売上原価	13,744	13,816	71	+0.5%
売上総利益	6,222	4,401	△1,821	△29.3%
販売管理費	4,447	4,187	△260	△5.9%
営業利益	1,775	214	△1,560	△87.9%
営業外収益	140	249	109	+77.7%
営業外費用	7	12	4	+57.2%
経常利益	1,907	451	△1,455	△76.3%
特別利益	-	994	994	-
特別損失	48	2,983	2,935	+6037.1%
当期純利益*	958	△2,232	△3,190	-

* 親会社株主に帰属する当期純利益

* KMGの損益計算書は2019.8期3Qより連結

■売上高

- ・明光義塾事業 (直営・F C) △1,027百万円
- ・日本語学校事業 △ 205百万円
- ・その他事業 △ 516百万円

■売上原価

- ・仕入 (原価) △284百万円
- ・人件費 (原価) +370百万円
- ・KMG子会社化 (2019.8期3Q~)
- ・明光NWJ単体 (人員体制強化)

■販売管理費

- ・広告宣伝費・販促費 △ 134百万円
- ・貸倒引当金繰入額 △ 42百万円
- ・役員報酬 △ 37百万円

■営業外収益

- ・助成金収入 + 55百万円
- ・貸倒引当金戻入額 + 53百万円

■特別利益

- ・投資有価証券売却益 (上場1銘柄) + 994百万円

■特別損失

- ・減損損失 (のれん・固定資産) +2,410百万円
- ・投資有価証券評価損 (ベンチャー投資) + 468百万円

特別損失に関して

■ コロナ禍の状況を踏まえて、今後の事業計画を見直したことにより、減損損失を計上

(単位：百万円)

内訳	金額	備考
減損損失	2,453	のれん減損（連結子会社5社※） 2,296百万円 （※MAXIS、ケイライン、KMG、早稲田EDU、国際人材開発） 固定資産減損 156百万円
投資有価証券評価損	468	ベンチャー投資先5社の評価損
関係会社株式売却損	53	連結子会社ユーデック・晃洋書房の株式売却
有形固定資産除却損	8	
計	2,983	

2020年8月期 決算概要 (連結B/S)

(単位：百万円)

	19.8期末	20.8期末	対前期末	
			増減額	増減率
流動資産	9,734	8,848	△885	△9.1%
有形固定資産	1,220	1,142	△78	△6.4%
無形固定資産	3,311	545	△2,766	△83.5%
投資その他の資産	5,497	3,504	△1,993	△36.3%
資産合計	19,765	14,041	△5,723	△29.0%
流動負債	4,506	3,847	△659	△14.6%
固定負債	843	720	△122	△14.5%
負債合計	5,350	4,568	△782	△14.6%
純資産合計	14,414	9,473	△4,941	△34.3%
負債・純資産合計	19,765	14,041	△5,723	△29.0%

* 2019年2月28日付でKMGの貸借対照表を連結 (損益計算書は2019.8期3Qより連結)

■ 資産の部

(流動資産)

・ 現預金の減少 △479百万円 ・ 売掛金の減少 △448百万円

(無形固定資産)

・ のれんの減少 △2,769百万円

MAXIS・ケイシー・KMG・早稲田EDU・国際人材開発の減損 △2,296百万円
のれん償却 △472百万円

(投資その他の資産)

・ 投資有価証券の減少 △1,954百万円

含み益の減少 △702百万円、売却(上場1銘柄) △684百万円
投資有価証券評価損 △468百万円、社債振替 △199百万円

■ 負債の部

(流動負債)

・ 未払法人税等の減少 △330百万円 ・ 未払費用の減少 △154百万円

(固定負債)

・ 繰延税金負債の減少 △104百万円

■ 純資産の部

・ 利益剰余金の減少 △3,177百万円

・ 自己株式の増加 △1,259百万円

2020年8月期 決算概要（連結C/F）

（単位：百万円）

	2019.8期	2020.8期	前期比 増減額
営業活動CF	2,505	140	△2,364
投資活動CF	△347	1,243	+1,590
財務活動CF	△829	△2,063	△1,234
現金及び現金 同等物の増減	1,328	△679	△2,008
期首残高	6,116	7,445	+1,328
期末残高	7,445	6,765	△679

<増減額>

■営業活動C/F

- ・税金等調整前当期純利益の減少（当期純損失の増加）
△3,397百万円
- ・減損損失の増加
+2,410百万円
- ・投資有価証券売却損益（△は益）
△ 994百万円

■投資活動C/F

- ・投資有価証券の売却による収入
+1,674百万円

■財務活動C/F

- ・自己株式の取得による支出
△1,259百万円

■現金及び現金同等物

- ・期末残高
△ 679百万円

セグメント別売上高、営業利益

(単位：百万円)

		明光義塾 直営事業	明光義塾 FC事業	日本語学校 事業※1	その他※2	全社費用	全社合計
2020年 8月期	売上高 ※3	10,297	4,349	1,156	2,414	-	18,218
	(前期比増減額)	△342	△685	△205	△516	-	△1,749
	営業利益	294	1,428	54	△276	△1,287	214
	(前期比増減額)	△599	△564	△28	△350	△17	△1,560
	売上高対 営業利益率	2.9%	32.9%	4.7%	△11.4%	-	1.2%
2019年 8月期	売上高 ※3	10,639	5,035	1,361	2,931	-	19,967
	営業利益	894	1,993	82	73	△1,269	1,775
	売上高対 営業利益率	8.4%	39.6%	6.1%	2.5%	-	8.9%

※1 当期より従来「その他」に含めておりました「日本語学校事業」につきまして、相対的な重要性を考慮し、報告セグメントとして記載するとともに、従来、報告セグメントとして開示していた「予備校事業」につきましては、量的な重要性が減少したため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

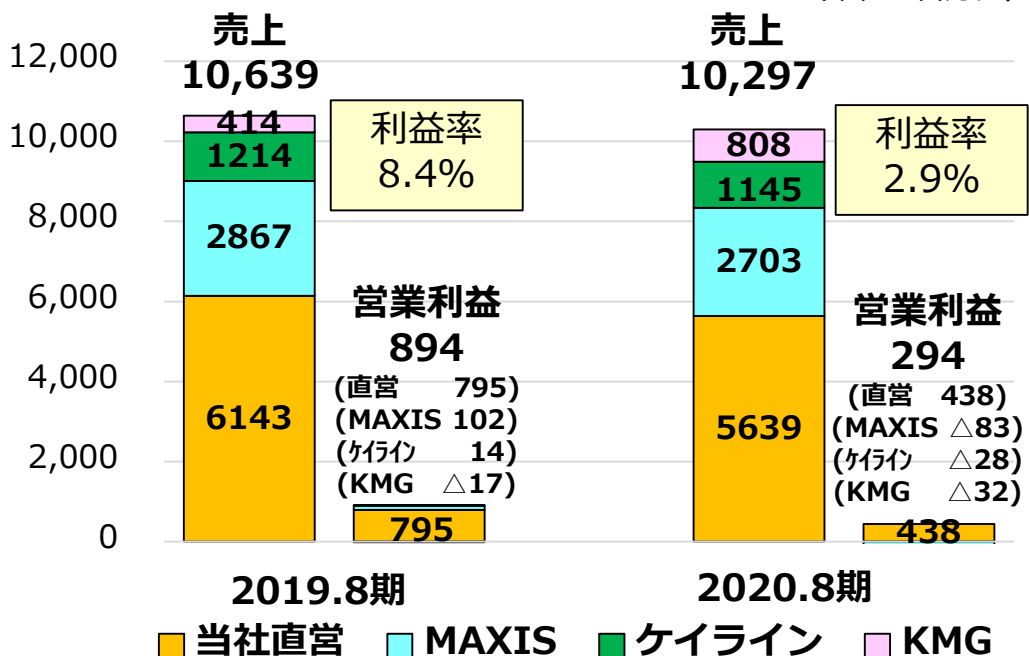
※2 早稲田アカデミー個別進学館事業、キッズ事業、スポーツ事業、連結子会社における事業（古藤事務所、東京医進学院、ユーデック、晃洋書房）等

※3 売上高は内部取引控除後の金額を記載しております。

なお、控除されている内部取引の金額は、明光義塾直営事業 4百万円（前期0）、明光義塾FC事業 743百万円（前期684百万円）、その他事業 68百万円（前期117百万円）となっております。

明光義塾直営事業

(単位：百万円)



(MAXIS・ケイライン・KMGの費用にはロイヤルティ・のれん償却費を含む)

■ 教室数：421教室（前期比 24教室増）

・ 当社直営※1：+23 MAXIS：+2 ケイライン：±0 KMG：△1

※1 FC教室譲受による増加。なお、2020年9月1日付けで新設分割した株式会社One link（完全子会社）に21教室を承継している。

■ 売上高 342百万円減

・ 当社直営：△504百万円
 ・ MAXIS：△163百万円 ケイライン：△68百万円 KMG※2：+394百万円
 ※2 2019.8期3QよりPL連結

■ 営業利益 599百万円減

・ 当社直営：△356百万円
 ・ MAXIS：△185百万円 ケイライン：△42百万円 KMG：△14百万円

当社直営

(単位：教室、名、千円)

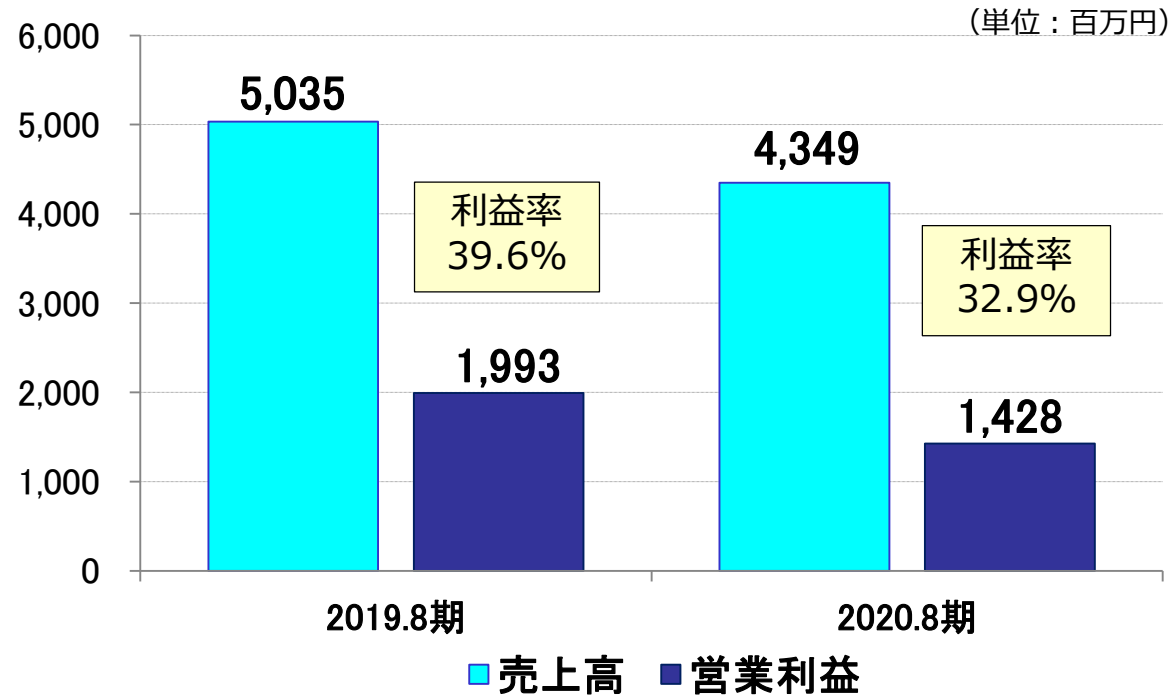
	19.8期	20.8期	増減額
教室数（8月末）	221	244	23
生徒数（期中平均）	15,281	14,491	△791
1教室平均生徒数（期中平均）	67.4	63.0	△4.5
生徒1人当たり売上	402.0	389.2	△12.9

MAXIS・ケイライン・KMG

(単位：教室、名、千円)

	19.8期 MAXIS	20.8期 MAXIS	増減額	19.8期 ケイライン	20.8期 ケイライン	増減額	19.8期 3Q-4Q KMG	20.8期 KMG
教室数（8月末）	92	94	2	41	41	0	43	42
生徒数（期中平均）	6,482	6,533	+51	2,689	2,535	△154	2,143	2,089
1教室平均生徒数（期中平均）	69.8	70.1	+0.4	64.5	61.0	△3.6	49.8	49.1
生徒1人当たり売上	442.4	414.2	△28.2	451.6	452.1	+0.6	193.4	388.0

明光義塾FC事業



■ 教室数：1,441教室 (99教室減)

- ・新設・増設・再開 + 4
- ・直営より譲受 + 1
- ・直営へ譲渡 △ 29
- ・閉鎖・休校・解約 △ 75

■ 売上高 685百万円減

- ・ロイヤルティ収入 △341百万円
- ・契約金売上 △ 95百万円
- ・F C 備品売上 △ 80百万円
- ・F C 教材売上 △ 77百万円

■ 営業利益 564百万円減

- ・コロナによる休講、生徒数の減少等に伴う売上高減少の影響
- ・人員体制強化に伴う人件費増加の影響

(単位：教室、名)

F C 事業	2019.8期	2020.8期	増減率	増減額
教室数 (8月末)	1,540	1,441	-6.4%	△99
生徒数 (期中平均)	87,387	78,991	-9.6%	△8,396
1教室平均生徒数 (期中平均)	54.4	52.8	-2.9%	△1.6
ロイヤルティ収入 (百万円)	3,069	2,727	-11.1%	△341
1教室平均 // (千円)	1,911.5	1,823.2	-4.6%	△ 88.4

日本語学校事業・その他事業

(単位：百万円)

		19.8期	20.8期			特記事項 (カッコ内は前年同期比)
			実績	前期比		
				増減額	増減率	
日本語 学校	売上高 (2校計)	1,361	1,156	△205	△15.1%	早稲田EDU 生徒数 386名 (△311)
	営業利益 (2校計)	82	54	△28	△34.1%	国際人材開発(JCLI) 生徒数 568名 (△517)
その 他 事 業	売上高	2,931	2,414	△516	△17.6%	
	・早稲田アカデミー個別進学館	532	531	△1	△0.2%	校舎数：当社直営12(MAXIS5含む)、早稲アカ直営28、FC11、生徒数：4,126名 (+1,006)
	・キッズ	390	416	+26	+6.7%	スクール数34校、生徒数1,399名 (+255)
	・スポーツ	141	80	△61	△43.3%	スクール数14校 (うちFC3校)、生徒数535名 (△335)
	・古藤事務所	531	560	+29	+5.5%	大学教育関連事業 売上・利益とも計画通り
	・ユーデック	540	254	△286	△52.9%	学内予備校、模擬試験等 ※3Qより連結除外
	・晃洋書房	315	121	△193	△61.5%	学術専門書出版事業 ※3Qより連結除外
	・東京医進学院	371	304	△67	△18.1%	校舎数2校 生徒数56名 (△13)
	・その他	108	144	+36	+34.0%	スタディクラブ、ESLClub、自立学習RED、tyotto塾、明光キッズe、海外事業ほか
	営業利益	73	△276	△350	-	新規事業 (自立学習RED、tyotto塾、明光キッズe等) への先行投資により減益

※ 売上高は内部取引を控除した金額

※ 校舎数・スクール数・生徒数は2020年8月末時点

2021年8月期(第37期) 業績予想・配当予想

2021年8月期 業績予想

(単位：百万円)

	2020.8期 連結業績	2021.8期 連結業績予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	18,218	18,300	82	+0.4%
営業利益	214	264	50	+22.9%
経常利益	451	319	△132	△29.4%
当期純利益*	△2,232	270	2,502	-

* 親会社株主に帰属する当期純利益

■ 2021年8月期の連結売上高は 前期比8,200万円増収 の計画

内訳：明光ネットワークジャパン単体+4.2億円

(明光義塾△1.4億円(One link新設分割等)、キッズ+1.8億円、新規(RED・tyotto・キッズe)+3.6億円等)

連結子会社△3.4億円

(1-テック・晃洋書房の連結除外△4.1億円、日本語学校(入国制限)△3.4億円、One link+3.6億円(新設分割)等)

■ 2021年8月期の連結営業利益は 前期比5,000万円増益 の計画

内訳：のれん償却減少(減損による)+3.9億円、明光ネットワークジャパン単体及びF C子会社4社(コロナ禍対策費用含む)+1.3億円

1-テック・晃洋書房の連結除外+0.5億円、日本語学校(入国制限)△5.1億円等

2021年8月期 配当予想・株主優待制度

基準日	1株当たり配当金			連結配当性向
	第2四半期末	期末	合計	
2021年8月期 予想	5円	5円	10円	92.9%
2020年8月期 実績	15円	15円	30円	—

- 2021年8月期の**1株当たり年間配当額**につきましては、**10円**（中間5円、期末5円）、**配当性向は92.9%**を予想しております。
- 株主優待制度は変更し、保有株式数及び継続保有年数により贈呈するQ U Oカードの額面金額を一律半額といたしました。

※2020年8月末日現在の株主の皆様に対する株主優待制度より変更
2021年8月期も変更した内容にてQ U Oカードを贈呈

お問い合わせ先

経営企画部 坂元 小谷野

T E L : 03 - 5860 - 2112

F A X : 03 - 5332 - 7091

E-mail : info@meikonetwork.jp

W E B : <https://www.meikonet.co.jp/>

本資料は、2020年8月期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2020年8月末日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載した意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではありません。
なお今後、予告なしに変更することがあります。